

# HP Universal CMDB

ソフトウェアバージョン:10.10

サポート・マトリックス

ドキュメントリリース日: 2013 年 11月

ソフトウェアリリース日: 2013 年 11月



## ご注意

### 保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

### 権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

### 著作権について

© Copyright 2002 - 2013 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

### 商標について

Adobe®は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft®およびWindows®は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

UNIX®は、The Open Groupの登録商標です。

## ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。 <http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、次のWebサイトから行なうことができます。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

または、HP Passport のログインページの [New users - please register] リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

## サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。 <http://support.openview.hp.com>

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

[http://support.openview.hp.com/access\\_level.jsp](http://support.openview.hp.com/access_level.jsp)

HP Software Solutions Nowは、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやTILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトのURLは<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>です。

## 目次

目次	3
要件	4
ハードウェア	4
オペレーティング・システム	5
データベース	6
アプリケーション・サーバ	11
Web サーバ	12
Web ブラウザとプラグイン	12
追加要件	15
データ・フロー・プローブ要件	15
Universal Discovery クライアント・インベントリ・ツールのソフトウェア要件	19
Store and Forward サーバのサポート	20
互換性	21
言語	21
インターナショナルライゼーションの差異	22
仮想化製品	22
高可用性製品	25
HP ソフトウェアの統合	25
HP ソフトウェアの共存	25
その他のソフトウェアの共存	26
サーバクライアントの互換性	26
パフォーマンスとサイズ設定	26
サポート廃止の予定	27
変更のログ	28
お客様からのご意見、ご感想をお待ちしています。	32

## 要件

本項では、Universal CMDB 10.10 を正常にインストールして実行するために必要な、サポートされるハードウェアとソフトウェアに関する情報を提供します。

## ハードウェア

Universal CMDB 10.10 は次のハードウェア上でサポートされます。

コンポーネント	要件
コンピュータ/プロセッサ	<p><b>Windows / Linux の場合 :</b></p> <p>CPU 要件を満たすために、次のいずれかが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• Intel Dual Core Xeon Processor 2.4 GHz 以上</li><li>• AMD Opteron Dual Core Processor 2.4 GHz 以上</li></ul> <p>上記の要件以外に、デプロイメントの構成に応じて、次の CPU Core 数が必要になります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 小規模デプロイメント:1 CPU</li><li>• 標準デプロイメント:4 CPU</li><li>• エンタープライズ・デプロイメント:8 CPU</li></ul> <p><b>注 :</b> HP Universal CMDB パフォーマンスはプロセッサの速さに依存するため、確実に適正な HP Universal CMDB 速度性能を得るには可能な限り速いプロセッサ速度を使用することを推奨します。</p>
メモリ	<p><b>Windows / Linux の場合 :</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 小規模デプロイメント:4 GB RAM</li><li>• 標準デプロイメント:8 GB RAM</li><li>• エンタープライズ・デプロイメント:<ul style="list-style-type: none"><li>▪ 16 GB RAM</li><li>▪ 32 GB RAM (4,000 万を超える CI および関係の場合)</li></ul></li></ul>

コンポーネント	要件
メモリ・スワップ・ファイル	<p><b>Windows :</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 小規模デプロイメント:6 GB(サポート対象)</li> <li>• 標準デプロイメント:12 GB</li> <li>• エンタープライズ・デプロイメント:24 GB</li> </ul> <p><b>Linux :</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 小規模デプロイメント:4 GB(サポート対象)</li> <li>• 標準デプロイメント:8 GB</li> <li>• エンタープライズ・デプロイメント:16 GB</li> </ul> <p><b>注 :</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Windows 用の仮想メモリは, 少なくとも物理メモリ・サイズの 1.5 倍以上が必要です。</li> <li>• Linux スワップ・ファイルのサイズは, 物理メモリ・サイズと同程度でなくてはなりません。</li> </ul>
ハードディスク・ドライブの 空き領域	最低 30 GB(ログ, メモリ・ダンプなどに使用)
ディスプレイ	<b>Windows :</b> 最低 256 色以上のカラー・パレット設定 (推奨:32,000 色表示)

注: HP Universal CMDB Configuration Manager のハードウェア要件は, Universal CMDB に対する要件と同じです。

## オペレーティング・システム

Universal CMDB 10.10 は次のオペレーティング・システムで動作します。:

ハードウェア・プラットフォーム	OS Type	OS のバージョンとエディション	サポートされている	推奨
x86-64	Windows Server 2012	Datacenter および Standard	はい	はい
x86-64	Windows Server 2008	Enterprise SP2, R2 および R2 SP1(64ビット)	はい	

ハードウェア・プラットフォーム	OS Type	OS のバージョンとエディション	サポートされている	推奨
x86-64	Windows Server 2008	Standard R2 および R2 SP1(64 ビット)	はい	
x86-64	Red Hat Linux Server 5.x	Enterprise/Advanced (64 ビット)	はい	
x86-64	Red Hat Enterprise Linux Server 6.2, 6.3, および 6.4	64 ビット	はい	
x86-64	Oracle Enterprise Linux Server, Red Hat 互換カーネル v6.3 使用	Enterprise/Advanced (64 ビット)	はい	
x86-64	Oracle Enterprise Linux Server, Unbreakable Enterprise Kernel v6.3 使用	Enterprise/Advanced (64 ビット)	はい	
x86-64	Windows Server 2003		なし	
x86	Windows Server 2008		なし	
任意	SUSE Linux Server 9, 10, 11	エンタープライズ	なし	
Sun SPARC	Solaris 8, 9 または 10		なし	
任意	Red Hat Linux Server 3, 4	エンタープライズ	なし	
Itanium 64	Windows Server 2008		なし	
Itanium 64	Red Hat Linux Server 5	Enterprise/Advanced	なし	

**注:**

- Universal CMDB でサポートされているすべてのオペレーティング・システムは HP Universal CMDB Configuration Manager でもサポートされます。
- サポート・マトリックスの範囲に曖昧な点がないように、サポートされない構成をリストしています。
- Windows Server 2003 は UCMDB 10.01 ではサポートされなくなりました。
- HP Universal CMDB のインストールは 32 ビットのマシンではサポートされません。

## データベース

次のサポートされているデータベースの 1 つが Universal CMDB 10.10 を実行するために必要です。

- Oracle Server
- Microsoft SQL Server
- PostgreSQL サーバ

## Oracle システム要件

次の表に、HP Universal CMDB との連携がサポートされている Oracle サーバを示します。サポートされているオプションとは、HP の品質保証担当者により基本的なテストが正常に実施されたオプションのことを意味します。

データベース・バージョン	エディション	システム・タイプ	サポート対象製品
Oracle 11.2(11g R2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 標準</li> <li>• エンタープライズ</li> <li>• RAC エンタープライズ</li> </ul>	64 ビット	<ul style="list-style-type: none"> <li>• UCMDB</li> <li>• Configuration Manager</li> </ul>

### 注:

- ご使用のオペレーティング・システムに最新の重要な Oracle パッチを適用することを強くお勧めします。詳細については、Oracle ドキュメントを参照してください。
- サポートされるプラットフォームの詳細については、Oracle ドキュメントを参照してください。
- UCMDB サーバは、(プロキシおよびファイアウォールが設定されていない) データベース・サーバと同じ LAN に配置する必要があります。そうしない場合、システムのパフォーマンスに影響が出る可能性があります。そうしなければ、システムのパフォーマンスに影響がある可能性があります。

## テスト済みデプロイメントの例

次の表に、HP の品質保証担当者が厳しいテストを実施したデプロイメント環境の詳細を示します。

データベース・リリース			オペレーティング・システム
バージョン	エディション	システム・タイプ	
Oracle 11.2.0.1.0	エンタープライズ	64 ビット	Windows Server 2012 Datacenter エディション(64 ビット)
Oracle 11.2.0.1.0	エンタープライズ	64 ビット	Windows Server 2008 R2 Enterprise エディション Service Pack 1(64 ビット)

データベース・リリース			オペレーティング・システム
バージョン	エディション	システム・タイプ	
Oracle 11.2.0.1.0	エンタープライズ	64 ビット	Red Hat Enterprise Linux サーバ6.4
Oracle 11.2 RAC	エンタープライズ	64 ビット	Oracle Enterprise Linux, Unbreakable Enterprise Kernel v6.3 使用

### Microsoft SQL のシステム要件

次の表に、HP Universal CMDB との連携がサポートされている Microsoft SQL Server を示します。サポートされているオプションとは、HP の品質保証担当者により基本的なテストが正常に実施されたオプションのことを意味します。

データベース・バージョン	エディション	システムタイプ	サービス・パック	サポート対象製品
Microsoft SQL Server 2012	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準</li> <li>エンタープライズ</li> </ul>	64 ビット	SP1	<ul style="list-style-type: none"> <li>UCMDB</li> <li>Configuration Manager</li> </ul>
Microsoft SQL Server 2008	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準</li> <li>エンタープライズ</li> </ul>	32 ビットまたは 64 ビット	SP3	<ul style="list-style-type: none"> <li>UCMDB</li> <li>Configuration Manager</li> </ul>
Microsoft SQL Server 2008	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準</li> <li>エンタープライズ</li> </ul>	64 ビット	R2 SP1, R2 SP2	<ul style="list-style-type: none"> <li>UCMDB</li> <li>Configuration Manager</li> </ul>
Microsoft SQL Server 2012 Failover Cluster	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンタープライズ</li> </ul>	64 ビット	SP1	<ul style="list-style-type: none"> <li>UCMDB</li> <li>Configuration Manager</li> </ul>
Microsoft SQL Server 2008 Failover Cluster	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンタープライズ</li> </ul>	64 ビット	<ul style="list-style-type: none"> <li>SP3</li> <li>R2 SP1</li> <li>R2 SP2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>UCMDB</li> <li>Configuration Manager</li> </ul>



**注:**

- サポートされているサービス・パックのみをインストールし、最新のパッチを適用してください。
- サポートされるプラットフォームの詳細については、Microsoft ドキュメントを参照してください。
- SQL Server 2008 Service Pack 2 はサポートされなくなりました。
- Microsoft SQL Server 2008 Failover Cluster は小規模または標準的な UCMDB デプロイメントのみをサポートします。
- UCMDB サーバは、(プロキシおよびファイアウォールが設定されていない) データベース・サーバと同じ LAN に配置する必要があります。そうしない場合、システムのパフォーマンスに影響が出る可能性があります。そうしなければ、システムのパフォーマンスに影響がある可能性があります。

### テスト済みデプロイメントの例

次の表に、HP の品質保証担当者が厳しいテストを実施したデプロイメント環境の詳細を示します。

データベース・リリース		オペレーティング・システム		
バージョン	エディション	システム タイプ	サー ビス パック	
Microsoft SQL Server 2012	エンタープライズ	64 ビット	SP1	Windows Server 2012 Standard エディション (64 ビット)
Microsoft SQL Server 2012	エンタープライズ	64 ビット	SP1	Windows Server 2012 Datacenter エディション(64 ビット)
Microsoft SQL Server 2012	エンタープライズ	64 ビット	SP1	Windows Server 2008 R2 Enterprise エディション Service Pack 1(64 ビット)
Microsoft SQL Server 2012	標準	64 ビット	SP1	Oracle Enterprise Linux Server 6.3
Microsoft SQL Server 2012	標準	64 ビット	SP1	Windows Server 2012 Datacenter エディション(64 ビット)

データベース・リリース				オペレーティング・システム
バージョン	エディション	システム タイプ	サー ビス パック	
Microsoft SQL Server 2012	標準	64 ビット	SP1	Windows Server 2008 R2 Enterprise エディション Service Pack 1(64 ビット)
Microsoft SQL Server 2012 Cluster	エンター プライズ	64 ビット	SP1	Windows Server 2008 R2 Enterprise エディション Service Pack 1(64 ビット)
Microsoft SQL Server 2012 Cluster	エンター プライズ	64 ビット	SP1	Windows Server 2008 R2 Standard エディション Service Pack 1(64 ビット)
Microsoft SQL Server 2008	エンター プライズ	64 ビット	SP3	Windows Server 2008 R2 Enterprise エディション Service Pack 1(64 ビット)
Microsoft SQL Server 2008 R2 Cluster	エンター プライズ	64 ビット	SP2	Windows Server 2012 Standard エディション (64 ビット)

## PostgreSQL のシステム要件

次の表に、HP Universal CMDB との連携がサポートされている PostgreSQL サーバを示します。サポートされているオプションとは、HP の品質保証担当者により基本的なテストが正常に実施されたオプションのことを意味します。

データベース・バージョン	エディション	システム タイプ	サポート対象製品
PostgreSQL サーバ 9.22	エンタープライズ	64 ビット	<ul style="list-style-type: none"> <li>UCMDB</li> <li>Configuration Manager</li> </ul>

### 注:

- サポートされているサービス・パックのみをインストールし、最新のパッチを適用してください
- UCMDB サーバは、(プロキシおよびファイアウォールが設定されていない) データベース・サーバと同じ LAN に配置する必要があります。そうしない場合、システムのパフォーマンスに影響が出る可能性があります。そうしなければ、システムのパフォーマンスに影響がある可能性があります。

- 埋め込み PostgreSQL は UCMDB のエンタープライズ・デプロイメントではサポートされません。
- PostgreSQL は Linux システムではサポートされません。

## テスト済みデプロイメントの例

次の表に、HP の品質保証担当者が厳しいテストを実施したデプロイメント環境の詳細を示します。

データベース・リリース			
バージョン	デプロイメント	システム・タイプ	オペレーティング・システム
PostgreSQL サーバ 9.22	外部	64 ビット	Windows Server 2008 R2 Enterprise エディション Service Pack 1
PostgreSQL サーバ 9.22	内蔵	64 ビット	Windows Server 2008 R2 Enterprise エディション Service Pack 1
PostgreSQL サーバ 9.22	内蔵	64 ビット	Red Hat Enterprise Linux サーバ 6.2
PostgreSQL サーバ 9.22	内蔵	64 ビット	Red Hat Enterprise Linux サーバ 6.3

## アプリケーション・サーバ

Universal CMDB 10.10 はアプリケーション・サーバを使用しません。

HP Universal CMDB Configuration Manager を実行するには、次のサポートされているアプリケーション・サーバが必要です。

- Apache Tomcat, バージョン 7.0.19

注: 必要なアプリケーション・サーバは HP Universal CMDB Configuration Manager のインストールに含まれています。

## Web サーバ

Universal CMDB 10.10 を実行するには、次のサポートされている Web サーバが必要です。

- Jetty, バージョン 7.6.0

注: 必要な Web サーバは HP Universal CMDB のインストールに含まれています。

## Web ブラウザとプラグイン

次のサポートされている Web ブラウザの 1 つが Universal CMDB 10.10 を実行するために必要です。

ブラウザ	OS のバージョンとエディション	サポートされている	推奨
Windows Internet Explorer 7	サポートされるプラットフォームの詳細については、Microsoft ドキュメントを参照してください。	はい	
Windows Internet Explorer 8	サポートされるプラットフォームの詳細については、Microsoft ドキュメントを参照してください。	はい	
Windows Internet Explorer 9	サポートされるプラットフォームの詳細については、Microsoft ドキュメントを参照してください。	はい	はい Internet Explorer を使用している場合は、最適な表示とアプリケーション・パフォーマンスを得るために、バージョン 9.0 を使用することを推奨します。

ブラウザ	OS のバージョンとエディション	サポートされている	推奨
Windows Internet Explorer 10	サポートされるプラットフォームの詳細については、Microsoft ドキュメントを参照してください。	はい	
Google Chrome	Microsoft Windows	はい	
Firefox 10 以上	Microsoft Windows	はい	
Firefox 10 以上	Red Hat Enterprise Linux バージョン 5 および 6 (32/64-bit)	なし	
Safari 4.x	Windows	なし	
Internet Explorer 6	Windows	なし	
Firefox 3.5, 4, 5, 6, 7, 8, 9	任意	なし	

Universal CMDB 10.10 を実行するには、次のサポートされているプラグインが必要です。

画面解像度	必要最低解像度：1024x768。1280x1024 を使用することを推奨します。ワイド画面 (15.4 ラップトップなど) に最適な解像度は、1600x1050 です。
-------	---

<p>Java 実行環境 (アプレット表示用)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>1.6 ファミリ</b>。バージョン 6u10 以降。アプレットのロード毎にポップアップが現れ、アプレットに署名コードと非署名コードが混在していることを示すメッセージが表示されるため、6u19 はお勧めしません。</li> <li>● <b>7 ファミリ</b></li> </ul> <p><b>注</b> :推奨の JRE バージョンは 1.7u25 です。ローカル・ネットワークでのダウンロードをできるように、UCMDB サーバにも含まれています。</p> <p><b>ローカルで使用される JRE を変更するには、次の手順を実行します。</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新規の JRE デプロイメント実行ファイルを次の場所に配置します。<b>C:\hp\UCMDB\UCMDBServer\deploy\ucmdb-ui\static\JRE</b></li> <li>2. サーバを再起動します。</li> </ol> <p>Microsoft Internet Explorer を使用している場合は、Java Web サイト (<a href="http://java.com/">http://java.com/</a>)から Sun JRE をダウンロードできます。</p> <p>インストール後、ブラウザが Java の正しいバージョンを使用していることを確認します。[ツール]&gt;[インターネット オプション]&gt;[詳細]タブをクリックし、[Java (Sun)]チェック・ボックスを選択します。[OK]をクリックしてブラウザを閉じ、もう一度開きます。</p> <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>注</b> : 32 ビットの Web ブラウザで UCMDB を実行するためには 32 ビット版の JRE がインストールされている必要があります。</p> </div>
<p>Java のキャッシュ</p>	<p>クライアントコンピュータで Java のキャッシュを有効にします。[コントロール パネル]&gt;[Java]&gt;[全般]タブ&gt;[インターネット一時ファイル]&gt;[設定]&gt;[コンピュータに一時ファイルを保持する]</p>
<p>アプレット タグのサポート</p>	<p>UCMDB アプレットは、アプレット タグのデプロイメントのみサポートしています。</p> <p>クライアント・マシンがアプレット・タグをサポートしているかどうかを確認するには、Java コントロール・パネルを開きます。[詳細]タブをクリックして、[ブラウザのデフォルトの Java]を開きます。Microsoft Internet Explorer が選択されていることを確認します。</p>
<p>Adobe Flash Player (レポート内のグラフの表示)</p>	<p>Versions 10.x, 11, および 11.5</p>
<p>Microsoft Excel (エクスポートしたデータを表示するため)</p>	<p>Versions 2007, 2010, および 2013</p>
<p>Adobe Reader (エクスポートしたデータを表示するため)</p>	<p>Versions 9 および 10</p>

## 追加要件

### データ・フロー・プローブ要件

#### ハードウェア要件

コンピュータ/プロセッサ	<p><b>推奨</b> :最新世代の Intel/AMD プロセッサ( Intel Xeon CPU または同等製品) および可能な範囲で最大の処理速度</p> <p><b>小規模/標準</b> :4 コア</p> <p><b>エンタープライズ</b> :8 コア</p>
メモリ	<p><b>Windows :</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>小規模</b> :4 GB RAM</li><li>• <b>標準</b> :8 GB RAM</li><li>• <b>エンタープライズ</b> :12 GB RAM</li></ul> <p><b>Linux :</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>小規模/標準</b> :4 GB RAM</li><li>• <b>エンタープライズ</b> :8 GB RAM</li></ul>
メモリ・スワップ・ファイル	<p><b>Windows :</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>小規模</b> :6 GB</li><li>• <b>標準</b> :12 GB</li><li>• <b>エンタープライズ</b> :18 GB</li></ul> <p><b>Linux :</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>小規模/標準</b> :4 GB</li><li>• <b>エンタープライズ</b> :8 GB</li></ul> <p><b>注 :</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• Windows 用の仮想メモリは, 少なくとも物理メモリ・サイズの1.5倍以上必要です。</li><li>• Linux スワップ・ファイルのサイズは, 物理メモリ・サイズと同程度でなくてはなりません。</li></ul>

ハードディスク・ドライブの空き領域	<p><b>小規模/標準</b> : 100 GB(注:100 GB のディスク領域のうち 75 GB はスキャン・ファイル用に必要)</p> <p><b>エンタープライズ</b> : 300 GB(注:300 GB のディスク領域のうち 225 GB はスキャン・ファイル用に必要)</p>
ディスプレイ	<b>Windows / Linux の場合</b> : 最低 256 色以上のカラー・パレット設定 (32,000 色表示を推奨)

**注:**

- 小規模デプロイメントでは、2週間に1回の 7500 ノードのスキヤナ・ベースのインベントリまたは毎日のアプリケーション依存関係マッピングのための 5000 ノードの検出がサポートされます。その他のスキヤナ・ベースのインベントリ/ノードおよびアプリケーション依存関係マッピング検出ノードの組み合わせも、次の式に従ってサポートされます。[インベントリ・ディスカバリ・ノード数] + [アプリケーション依存関係マッピング・ノード数] × 5 が 7500 以下。
- 標準デプロイメントでは、2週間に1回の 25000 ノードのスキヤナ・ベースのインベントリまたは毎日のアプリケーション依存関係マッピングのための 5000 ノードの検出がサポートされます。その他のスキヤナ・ベースのインベントリ/ノードおよびアプリケーション依存関係マッピング検出ノードの組み合わせも、次の式に従ってサポートされます。[インベントリ・ディスカバリ・ノード数] + [アプリケーション依存関係マッピング・ノード数] × 5 が 25000 以下。
- エンタープライズ・デプロイメントでは、週に 2 回の 75000 ノードのスキヤナ・ベースのインベントリまたは毎日のアプリケーション依存関係マッピングのための 10000 ノードの検出がサポートされます。その他のスキヤナ・ベースのインベントリ/ノードおよびアプリケーション依存関係マッピング検出ノードの組み合わせも、次の式に従ってサポートされます。[インベントリ・ディスカバリ・ノード数] + [アプリケーション依存関係マッピング・ノード数] × 7.5 が 75000 以下。
- たとえば、標準デプロイメントでは 15000 インベントリ・ディスカバリ・ノードおよび 2000 のアプリケーション依存関係マッピング・ノードがサポートされます。
- XML Enricher は、プローブのデプロイメント・モードに一致するよう構成する必要があります。詳細については、『HP Universal CMDB データ・フロー管理ガイド』の「Probe デプロイメント・モードに適した XML Enricher の設定方法」を参照してください。

**ソフトウェア要件**

ハードウェア・プラットフォーム	OS Type	OS のバージョンとエディション	サポートされている	推奨
x86-64	Windows Server 2012	Standard/Datacenter エディション, 64 ビット	はい	
x86-64	Windows Server 2008	SP2, Standard/Enterprise Edition, 64-bit	はい	



ハードウェア・プラットフォーム	OS Type	OS のバージョンとエディション	サポートされている	推奨
x86-64	Windows Server 2008	R2 および R2 SP1, Standard/Enterprise Edition, 64-bit	はい	はい
x86-64	Red Hat Linux Server 5.x	Enterprise/Advanced( 64 ビット)	はい	
x86-64	Red Hat Enterprise Linux Server 6.2, 6.3, および 6.4	64 ビット	はい	
x86-64	Oracle Enterprise Linux, Red Hat 互換カーネル v6.3 使用	Enterprise/Advanced( 64 ビット)	はい	
x86-64	Oracle Enterprise Linux, Oracle Unbreakable Enterprise Kernel v6.3 使用	Enterprise/Advanced( 64 ビット)	はい	
	Windows Server 2008	SP2, Standard/Enterprise Edition, 32-bit	なし	
	Windows Server 2003	SP2 および R2 SP2, Standard/Enterprise Edition, 32-bit または 64-bit	なし	
	Windows 7	Professional / Enterprise	なし	
	Windows 2000		なし	

**注:**

- Windows Server 2003 は UCMDB 10.00 ではサポートされなくなりました。
- UCMDB 10.00 では、Data Flow Probe は 64 ビット・プラットフォームのみをサポートします。
- Linux プラットフォームの場合、検出ではなく統合のみがサポートされます。詳細については、『HP Universal CMDB データ・フロー管理ガイド』の「モジュール/ジョブベースのディスカバリの実行方法」を参照してください。

**サポート対象データベース**

データベース	バージョンとエディション	推奨	コメント
PostgreSQL	9.2.2		このデータベースはプローブのインストールにバンドルされています

## 仮想環境の要件

プラットフォーム	OS のバージョンとエディション	サポートされている	推奨
VMware ESXi 5.0, 5.0 update 1, 5.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Server 2008 Standard/Enterprise SP2, R2 および R2 SP1(64 ビット)</li> <li>Red Hat Linux Server 5.x Enterprise/Advanced (64 ビット)</li> <li>Red Hat Enterprise Linux Server 6.2 および 6.3 (64 ビット)</li> </ul>	はい	はい
VMware ESX 4.0, 4.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Server 2008 Standard/Enterprise SP2, R2 および R2 SP1(64 ビット)</li> <li>Red Hat Linux Server 5.x Enterprise/Advanced (64 ビット)</li> <li>Red Hat Enterprise Linux Server 6.2 および 6.3 (64 ビット)</li> </ul>	はい	
Microsoft Hyper-V Server 2012	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Server 2008 Standard/Enterprise SP2, R2 および R2 SP1(64 ビット)</li> <li>Red Hat Linux Server 5.x Enterprise/Advanced (64 ビット)</li> <li>Red Hat Enterprise Linux Server 6.2 および 6.3 (64 ビット)</li> </ul>	はい	
Microsoft Hyper-V Server 2008 R2 SP1	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Server 2008 Standard/Enterprise SP2, R2 および R2 SP1(64 ビット)</li> <li>Red Hat Linux Server 5.x Enterprise/Advanced (64 ビット)</li> <li>Red Hat Enterprise Linux Server 6.2 および 6.3 (64 ビット)</li> </ul>	はい	
VMware ESX 3.5 以前	すべてのプラットフォーム	なし	
VMware ESXi 4.1 以前	すべてのプラットフォーム	なし	
Xen Hypervisor 3.x	すべてのプラットフォーム	なし	

## パッシブ・ディスクバリの統合

HP Real User Monitor( HP RUM) バージョン 9.20 以降は、パッシブな Just-In-Time 検出を実行するために、別サーバにインストールし、実行中の状態にし、Data Flow Probe と統合されるように設定する必要があります。

HP RUM Installation は、HP Software Support Online  
(<http://support.openview.hp.com/selfsolve/patches>). [Application Performance Management (BAC)]で[Real User Monitor]を検索します。

## Universal Discovery クライアント・インベントリ・ツールの ソフトウェア要件

次のテーブルには、Universal Discovery クライアント・インベントリ・ツールのソフトウェア要件を示しています。

- SAI エディタ
- ビューア
- Analysis Workbench

ハードウェア・プラットフォーム	OS Type	OS のバージョンとエディション	サポートされている
x86 または x86-64	Windows XP	任意	はい
x86 または x86-64	Windows Server 2003	任意	はい
x86 または x86-64	Windows Server 2003 R2	任意	はい
x86 または x86-64	Windows Server 2008	任意	はい
x86-64	Windows Server 2008 R2	任意	はい
x86 または x86-64	Windows Server 2012	任意	はい
x86 または x86-64	Windows Vista	任意	はい
x86 または x86-64	Windows 7	任意	はい
x86 または x86-64	Windows 8	任意	はい

### 注:

- ファイルがロックする問題が発生する恐れがあり、インベントリ・ツールを Data Flow Probe を実行しているコンピュータと同じコンピュータにインストールすることは推奨されません。
- 個別マシンのインベントリ・ツールをインストールする場合、ハードウェア要件は最小スピード 1.5 Ghz および 4 GB RAM のデュアル・コア CPU となります。

## Store and Forward サーバのサポート

Store and Forward サーバは、次のオペレーティング・システムおよびプラットフォームでサポートされています。

### Windows

オペレーティング・システム	バージョン	プラットフォーム
サーバ	2008	x64
サーバ	2008 R2	
サーバ	2012	

### Linux

オペレーティング・システム	バージョン	プラットフォーム
Red Hat Enterprise Linux Server/Desktop	5	x86-64
Red Hat Enterprise Linux Server/Workstation	6	
Oracle Linux	4,5,6	

## 互換性

本項では、必須ではない、Universal CMDB 10.10 と互換性があるソフトウェアおよび構成についての情報を提供します。

## 言語

Universal CMDB 10.10 は次のどの言語のシステムでも動作します。

- ドイツ語
- フランス語
- スペイン語
- ブラジル・ポルトガル語
- イタリア語
- オランダ語
- ロシア語
- 日本語
- 韓国語
- 簡体中国語

Universal CMDB 10.10 は次の言語でローカライズされています。

- ドイツ語
- フランス語
- スペイン語
- ブラジル・ポルトガル語
- イタリア語
- オランダ語
- ロシア語
- 日本語

- 韓国語
- 簡体中国語

## インターナショナルライゼーションの差異

Universal CMDB 10.10 はこのドキュメントに記載されているすべてのロケールで動作します。既知の差異はありません。

## 仮想化製品

Universal CMDB 10.10 は次の仮想化製品と使用できます。

仮想環境	OS のバージョンとエディション	サポートされている	UCMDB デプロイメント	推奨
VMware ESXi 5.1	<ul style="list-style-type: none"><li>• Windows 2008 Enterprise SP2, R2 および R2 SP1(64 ビット)</li><li>• Windows 2008 Standard R2 および R2 SP1(64 ビット)</li><li>• Red Hat Linux 5.x Enterprise/Advanced(64 ビット)</li><li>• Red Hat Enterprise Linux Server 6.2 および 6.3(64 ビット)</li></ul>	はい	<ul style="list-style-type: none"><li>• 小規模</li><li>• 標準</li><li>• エンタープライズ</li></ul>	はい

仮想環境	OS のバージョンとエディション	サポートされている	UCMDB デプロイメント	推奨
VMware ESXi 5.0, 5.0 update 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 2008 Enterprise SP2, R2 および R2 SP1(64 ビット)</li> <li>Windows 2008 Standard R2 および R2 SP1(64 ビット)</li> <li>Red Hat Linux 5.x Enterprise/Advanced(64 ビット)</li> <li>Red Hat Enterprise Linux Server 6.2 および 6.3(64 ビット)</li> </ul>	はい	<ul style="list-style-type: none"> <li>小規模</li> <li>標準</li> <li>エンタープライズ</li> </ul>	
VMware ESX 4.0, 4.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 2008 Enterprise SP2, R2 および R2 SP1(64 ビット)</li> <li>Windows 2008 Standard R2 および R2 SP1(64 ビット)</li> <li>Red Hat Linux 5.x Enterprise/Advanced(64 ビット)</li> <li>Red Hat Enterprise Linux Server 6.2 および 6.3(64 ビット)</li> </ul>	はい	<ul style="list-style-type: none"> <li>小規模</li> <li>標準</li> </ul>	

仮想環境	OS のバージョンとエディション	サポートされている	UCMDB デプロイメント	推奨
Microsoft Hyper-V Server 2012	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 2008 Enterprise SP2, R2 および R2 SP1(64 ビット)</li> <li>Windows 2008 Standard R2 および R2 SP1(64 ビット)</li> <li>Red Hat Linux 5.x Enterprise/Advanced(64 ビット)</li> <li>Red Hat Enterprise Linux Server 6.2 および 6.3(64 ビット)</li> </ul>	はい	<ul style="list-style-type: none"> <li>小規模</li> <li>標準</li> <li>エンタープライズ</li> </ul>	
Microsoft Hyper-V Server 2008 R2 SP1	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 2008 Enterprise SP2, R2 および R2 SP1(64 ビット)</li> <li>Windows 2008 Standard R2 および R2 SP1(64 ビット)</li> <li>Red Hat Linux 5.x Enterprise/Advanced(64 ビット)</li> <li>Red Hat Enterprise Linux Server 6.2 および 6.3(64 ビット)</li> </ul>	はい	<ul style="list-style-type: none"> <li>小規模</li> <li>標準</li> <li>エンタープライズ</li> </ul>	
Xen Hypervisor 3.x	任意	なし		



仮想環境	OS のバージョンとエディション	サポートされている	UCMDB デプロイメント	推奨
VMware ESX version 3.5 以前	任意	なし		
VMware ESXi 4.x 以前	任意	なし		

次の一般的な制限事項と推奨事項は、UCMDB サーバの仮想環境上へのインストールに適用されます。

- HP Universal CMDB のキャパシティとパフォーマンスは、HP Universal CMDB コンポーネントに割り当てられている CPU、メモリ、ネットワーク大域幅などのさまざまなサーバリソースによって異なります。
- ギガビット・ネットワーク・カードを使用しなければなりません。
- データベース・ファイルが仮想環境の仮想ディスクにある場合は、仮想環境上の HP Universal CMDB データベースが含まれるデータベース・サーバを実行しないことを強くお勧めします。

## 高可用性製品

Universal CMDB 10.10 は次の高可用性製品と互換性があります。

- **F5 BIG-IP バージョン 10.x** ロード・バランサ。(F5 BIG-IP バージョン 11.x もサポートされています。)

ロード・バランサの構成の詳細については、対話式の『HP Universal CMDB デプロイメント・ガイド』の高可用性に関する項を参照してください。

他のロード・バランサを使用している場合、ロード・バランサの設定方法について広範な知識を持つネットワーク管理者によって設定される必要があります。また、同様の原則も適用される必要があります。

**注:** 高可用性向けに使用されるロード・バランサは、cookie を挿入する機能を持ち、健全性の状況のチェック("keepalive")を行える必要があります。

## HP ソフトウェアの統合

Universal CMDB 10.10 と統合する HP ソフトウェアについての情報は HP サポートの Web サイトで確認できます。

<http://support.openview.hp.com/sc/solutions/index.jsp#tab=tab3> を参照してください。

## HP ソフトウェアの共存

Universal CMDB 10.10 について共存の情報はありません。

## その他のソフトウェアの共存

Universal CMDB 10.10 について共存の情報はありません。

## サーバクライアントの互換性

Universal CMDB 10.10 のクライアントまたはサーバの旧バージョンについて、互換性の情報はありません。

## パフォーマンスとサイズ設定

容量計画を行う場合、最も考慮すべき事項は CMDB の管理ノードとノード関連 CI の比率です。ノード関連 CI には、Application Resource, Node Element, または Running Software のサブクラスである、すべての CI タイプが含まれます。

次の表に、環境内の各管理ノードで検出可能なノード関連 CI の数を一覧表示します。この数は、デプロイメントのサイズと管理ノード数に依存します。CMDB 内に保持している管理ノードが多ければ、各管理ノードに検出可能なノード関連 CI は少なくなります。

たとえば、エンタープライズ・デプロイメントにおいて、134,400 の管理ノードを実行している場合、各管理ノードに 160 のノード関連 CI を検出できます。管理ノードを 43,200 だけ実行している場合は、各管理ノードに 500 のリソース CI を検出できます。

デプロイメント	管理ノード / ノード関連 CI の数
エンタープライズ	134400/160 – 43200/500
標準	9000/160 – 3000/500
小規模	4500/160 – 1000/500

注: この表の数値は CI の数で、関係性は加味されていません。

## サポート廃止の予定

2013年11月の時点では、現在サポートされている Universal CMDB のどのバージョンについても、サポートを終了する予定はありません。

## 変更のログ

次の表に、UCMDB バージョン 10.01 がリリースされてから、このドキュメントに対して加えられた変更内容を示します。

ドキュメントの日付 (製品バージョン)	変更
2012年11月 (10.01)	<p><b>ハードウェア：</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>4000万を超える数のCIおよび関係があるUCMDBのEnterpriseデプロイの場合、必要なメモリは32GB RAMです。</li></ul> <p><b>オペレーティング・システム：</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>Windows Server 2012 Datacenter および Standard エディションをサポートするようになりました(UCMDB および Data Flow Probe)</li><li>Red Hat Enterprise Linux Server 6.4 をサポートするようになりました (UCMDB および Data Flow Probe)</li></ul> <p><b>データベース：</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>Oracle Database 10.2.0.4 に対するサポートを終了しました</li><li>Microsoft SQL Server Database 2012 SP1, Standard/Enterprise エディション(64ビット)をサポートするようになりました</li><li>Microsoft SQL Server Database 2012 Failover Cluster SP1, Enterprise エディション(64ビット)をサポートするようになりました</li><li>PostgreSQL Server Database 9.2.2 Enterprise エディション(64ビット)を次のモードでサポートするようになりました<ul style="list-style-type: none"><li>内蔵モード(小規模および標準のUCMDBデプロイメントのみ)</li><li>外部モード(小規模、標準およびEnterprise UCMDBデプロイメントの場合)</li></ul></li></ul> <p><b>Web ブラウザ：</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>Windows Internet Explorer 10 をサポートするようになりました</li><li>Red Hat Enterprise Linux バージョン 5 および 6(32/64ビット)使用時のFirefox 10 およびそれ以降のバージョンのサポートを終了しました</li></ul> <p><b>プラグイン：</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>推奨のJREバージョンが1.7u05から1.7u25に変わりました</li><li>Adobe Flash Player 11.5 をサポートするようになりました</li><li>Microsoft Excel 2013 をサポートするようになりました</li></ul> <p><b>Data Flow Probe：</b></p>

ドキュメントの日付 (製品バージョン)	変更												
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• (Standard/Enterprise デプロイメントに追加して) Data Flow Probe の小規模デプロイメントを導入しました</li> <li>• (Windows 使用時) Data Flow Probe デプロイのメモリ要件は次のように変わります。 <table border="1" data-bbox="532 520 1375 640"> <tr> <td data-bbox="532 520 829 640">UCMDB 10.01</td> <td data-bbox="837 520 1375 640"> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 標準 :4 GB RAM</li> <li>• エンタープライズ :8 GB RAM</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="532 646 829 825">UCMDB 10.10</td> <td data-bbox="837 646 1375 825"> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 小規模 :4 GB RAM</li> <li>• 標準 :8 GB RAM</li> <li>• エンタープライズ :12 GB RAM</li> </ul> </td> </tr> </table> </li> <li>• (Windows 使用時) Data Flow Probe デプロイのメモリ・スワップ・ファイル要件は次のように変わります。 <table border="1" data-bbox="532 957 1375 1077"> <tr> <td data-bbox="532 957 829 1077">UCMDB 10.01</td> <td data-bbox="837 957 1375 1077"> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 標準 :6 GB RAM</li> <li>• エンタープライズ :12 GB RAM</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="532 1083 829 1262">UCMDB 10.10</td> <td data-bbox="837 1083 1375 1262"> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 小規模 :6 GB RAM</li> <li>• 標準 :12 GB RAM</li> <li>• エンタープライズ :18 GB RAM</li> </ul> </td> </tr> </table> </li> <li>• Data Flow Probe の Enterprise デプロイで必要になるハードディスクの空き容量が次のように変わりました。 <table border="1" data-bbox="532 1394 1375 1686"> <tr> <td data-bbox="532 1394 829 1539">UCMDB 10.01</td> <td data-bbox="837 1394 1375 1539">           200 GB            注 : 200 GB のディスク領域のうち 150 GB はスキャン・ファイル用に必要です         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="532 1545 829 1686">UCMDB 10.10</td> <td data-bbox="837 1545 1375 1686">           300 GB            注 : 300 GB のディスク領域のうち 225 GB はスキャン・ファイル用に必要です         </td> </tr> </table> </li> <li>• Data Flow Probe の MySQL と MySQL ドライバのサポートを終了しました</li> <li>• Data Flow Probe の PostgreSQL Server Database 9.2.2 をサポートするようになりました</li> </ul>	UCMDB 10.01	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 標準 :4 GB RAM</li> <li>• エンタープライズ :8 GB RAM</li> </ul>	UCMDB 10.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 小規模 :4 GB RAM</li> <li>• 標準 :8 GB RAM</li> <li>• エンタープライズ :12 GB RAM</li> </ul>	UCMDB 10.01	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 標準 :6 GB RAM</li> <li>• エンタープライズ :12 GB RAM</li> </ul>	UCMDB 10.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 小規模 :6 GB RAM</li> <li>• 標準 :12 GB RAM</li> <li>• エンタープライズ :18 GB RAM</li> </ul>	UCMDB 10.01	200 GB 注 : 200 GB のディスク領域のうち 150 GB はスキャン・ファイル用に必要です	UCMDB 10.10	300 GB 注 : 300 GB のディスク領域のうち 225 GB はスキャン・ファイル用に必要です
UCMDB 10.01	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 標準 :4 GB RAM</li> <li>• エンタープライズ :8 GB RAM</li> </ul>												
UCMDB 10.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 小規模 :4 GB RAM</li> <li>• 標準 :8 GB RAM</li> <li>• エンタープライズ :12 GB RAM</li> </ul>												
UCMDB 10.01	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 標準 :6 GB RAM</li> <li>• エンタープライズ :12 GB RAM</li> </ul>												
UCMDB 10.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 小規模 :6 GB RAM</li> <li>• 標準 :12 GB RAM</li> <li>• エンタープライズ :18 GB RAM</li> </ul>												
UCMDB 10.01	200 GB 注 : 200 GB のディスク領域のうち 150 GB はスキャン・ファイル用に必要です												
UCMDB 10.10	300 GB 注 : 300 GB のディスク領域のうち 225 GB はスキャン・ファイル用に必要です												

ドキュメントの日付 (製品バージョン)	変更
	<p>仮想化 :</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• VMware ESXi 5.1 をサポートするようになりました</li><li>• Microsoft Hyper-V Server 2012 をサポートするようになりました</li><li>• Microsoft Hyper-V Server 2008 R2 SP1 をサポートするようになりました (UCMDB の Enterprise デプロイ)</li></ul>

# お客様からのご意見、ご感想をお待ちしています。

本ドキュメントについてのご意見、ご感想については、電子メールで[ドキュメント制作チーム](#)までご連絡ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されていれば、このリンクをクリックすることで、以下の情報が件名に記入された電子メールウィンドウが開きます。

## サポート・マトリックス (Universal CMDB 10.10) へのフィードバック

本文にご意見、ご感想を記入の上、[送信]をクリックしてください。

電子メールクライアントが利用できない場合は、上記の情報をコピーしてWebメールクライアントの新規メッセージに貼り付け、SW-Doc@hp.com宛にお送りください。